1. 会合名	『広告及び景品類の提供に関する規則』等の見直しに関するワーキング」(第 15 回)
2. 日 時	平成 26 年 3 月 19 日 (水) 午後 4 時 ~ 4 時 40 分
3. 議 案	1. 最近の広告における具体的事例 2. その他
4. 主な内容	1. 最近の広告における具体的事例 金融庁監督局証券課 三村課長より、最近の広告における具体的事例及びそれに対する問題意識について説明が行われた。発言概要は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年、証券取引等監視委員会による検査において、投資助言・代理業者が行う比較広告に関し、著しく事実に相違する表示又は著しく人を誤認させるような表示を行っていた事実が認められたことから、当該投資助言・代理業者に対し行政処分を行った。 ・また、昨今、ステルス・マーケティングといった広告手法にも当局として関心を持っている。金商業者が、様々な SNS において第三者を装って自らの商品等の情報発信を行うといった場合、投資家保護の観点から問題がないか検討が必要と思われる。 ・こうした最近の広告事例に照らし、貴協会の現行の規則等が十分なものになっているか、ワーキングにおいて議論・検証して頂きたい。 その後、大要以下のとおり意見交換が行われた。 <p>(主な意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日証協の現在の広告指針でも、誇大広告の禁止や比較広告についてはある程度の記載がある。比較広告は景表法の観点を中心に記載されているが、金商法の観点からも記載をしていくということか。(事務局) ⇒ 景表法を遵守して頂くことは当然のことだが、ワーキングでは、金商法の観点から議論・検証して頂きたい。(金融庁) ・ワーキングの各委員が具体的な事例を持ち寄って、まとめていくイメージと考えてよいか。(事務局) ⇒ 会員各社が、広告等について常日頃から悩ましいと考えている点や問題意識を持ち寄り、議論して頂ければと考えている。また、SNS に限らず、雑誌等の紙媒体による広告も視野に入れて欲しい。(金融庁) その後、事務局より現在の協会規則及び広告指針の概要について説明が行われた。
	2. その他

	<p>・今後のスケジュールだが、主査と事務局で案を作成の上、1ヶ月程度後を目途に意見照会したいと考える。また、現在の広告指針等に対する意見があれば、事前に事務局に連絡いただきたい。(事務局)</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
5. その他	<p>※本議事要旨は暫定版であり、今後、内容が一部変更される可能性があります。</p>
6. 本件に関する問い合わせ先	<p>自主規制企画部 (03-3667-8470)</p>